

### 死ぬまで道を極める世界

野外展やニューヨークでの活動に加え、日本いけばな芸術展にも出展しています。また、昨年行われた浜名湖花博での『大地の恵み・現代いけばなアート展』では、見事に金賞を受賞しました。

加藤さんは、『いけばなネットワーク21』の会員でもあります。この会は、いけばなの各流派を代表する若い華道家で構成され、個性豊かな展示会などのさまざまな活動を通して、日本古来の伝統的



展示会出展への作品制作風景

### 加藤 大樹さん (北中在住)

「今回登場していただく加藤さんは、錦花池坊流派の若手華道家です。いけばなという一般的な清静で静かな世界を想像しますが、加藤さんは行動派で、剣道三段の腕前の持ち主でもあります。家元でもあるお母さんの教えで、高校生のころからいけばなを習うようになっていきます。当時は、花材を持って街を歩くのが恥ずかしくてわざと花を振り回して歩き、いっかは辞めてやる、という気持ちでいたそうです。」

そんな加藤さんですが、あるいはいけばなの世界に、新たな分野を見い出そうと活動しています。また、音楽や彫刻などの芸術とのコラボレーション(協働)を通して、異空間の中で花を生けるという、斬新な試みもしています。「いける場所としてのつわります。花材は自然のものですが、手に入った自然に自分を生かしてみたいですね。そのつわりを熱く語ります。」

一方で、いけばなには古典花といわれる伝統的な花型があり、流派によって引き継がれてきた技術を残していけるのが、自分の宿命であると考えています。「生涯技術を極めて行かなければならないゴールのない世界です」と語る加藤さん。3月23日(水)28日(日)には、加藤さんの作品も展示される「さわいけばな展」が所沢西武5階・特別催事場で開催されます。皆さんも加藤さんのスタイミッシュな作品を「買」になってみませんか。

## はっぴいところ 野老っ子



# みんなの 広場



▲立春を前に悪い鬼を豆で追い払い、1年間の無病息災を祈念した「節分祭」。 2月3日(木)/所沢神明社

## ふれあい館 『エコ回』不用品ガイド

- 譲ります ▶ 剣道道具一式▶ 電子オルガン▶ 製図台▶ ワークボード▶ 成人式用振袖▶ 帯▶ ガスレンジ (都市ガス用) ▶ 電気スタンド▶ 自転車 (14インチ、24インチ)
- 求めます ▶ 子ども用スキーセット▶ 電子ピアノ▶ はかまセット▶ 車いす▶ 学習机▶ ポータブルミニシン▶ ホームペーカー▶ MDラジカセ▶ ロックミシン▶ 電子レンジ▶ 小型冷蔵庫▶ FAX付き電話機▶ パソコン
- ◎登録翌月の初旬に内容を館内に展示しています。また、市ホームページ (アドレスは表紙参照) にも掲載していますのでご利用ください。
- 休館日 月曜日、祝休日
- 申し込み・問い合わせ リサイクル ふれあい館 ☎2994-5374・FAX2994-1118



▲ハーモニカの音色はとてもやさしく、懐かしさを感じさせます。「ハーモニカ初心者体験教室」。 2月3日(木)/中富南コミュニティセンター

## 街かど スマイル

▶皆さんの「街かどスマイル」情報を募集▶ 採用者には事前に連絡します▶ 「誰でもエッセイ」ではテーマにそった投稿を募集▶ はがきに300字以内▶ 文章は添削あり▶ 掲載者には記念品を進呈▶ 次回のテーマは「卒業」▶ 人生には、さまざまな卒業▶ 子育てからの卒業や、禁煙してタバコから卒業した人も▶ 皆さんの卒業にまつわる話をお寄せください▶ 締め切りは3月7日(月)必着▶ 住所・氏名・年齢・電話番号を明記▶ 送り先: 〒359-8501・並木1-1-1 所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係



▲所沢の織物の歴史や職人の話を聞く「お話を聞く会」が開催され、大勢の人が集まりました。 1月8日(土)/銀座通り井筒屋町商店

## とことこ 町内会めぐり

西所沢町内会は所沢(旧町)地区の西に位置し、東川が東西に流れています。現在では、世帯数が2,400世帯を超える大きな町内会として、発展してきています。

東川は一級河川であり、洪水対策(床上浸水対策の地下河川工事)が進められていますが、鯉をはじめ、さまざまな魚が息返し、時には白い鴨も現れ、地域住民の心を和ませてくれています。(写真は非常に珍しい白い鴨が飛来したときに、撮影したものです。)

これも、日ごろ、よりよい自然環境を残すために努力してくださる環境推進員の皆さんなどの息の長い地道なボランティア活動に支えられているお陰だと感謝しています。

一方で、当町内会では、祭りに欠かせない伝統芸能でもあるお囃子をはじめ、各種団体やサークル活動なども年

## 【所沢地区・西所沢町内会】 ~信義と友愛の町・西所沢~



東川に飛来した白い鴨

数を重ねるごとに盛んになってきています。また、町内には、市指定文化財として「三つ井戸弘法大師」も祭られており、その祭礼行事や町内行事に参加し、積極的に協力してくれる会員の皆さんもいらっしゃいます。

当町内会には、これら多くの会員の皆さんの力に支えられています。

町内会には、商店の減少や会員の加入促進等の問題等がありますが、今後とも会員の皆さんと「信義と友愛の精神」を持って、さまざまな活動に取り組んでいきたいと考えています。

## 誰でも エッセイ

テーマ 同窓会

幼なじみ、竹馬の友、恩師、ひそかに憧れていた人。数年ぶりに会う懐かしい顔、顔、顔。半世紀を生き、まだまだ現役ではあるが、この場では子どもころのヤンチャ坊主に戻る。

そのころあまり話したこともなかった友と妙に馬があたり、憧れの君にライバルがいたり。お互い、昔の呼び名で話し、仕事や家庭のこと忘れ心重心に返る。当時は、先生と授業以外には話せなかった。今日は、酒の力もあるのか何でか話せる。秀才だった友、生徒にも気さくに話しかけてくれる先生。

長い人生からみると、短い時間ではあるが、ともに学んだ仲間だ。地元で生まれ育った私たちは、変わりゆく郷土にまたどいつか昔話に花が咲く。諸事情で参加できなかった友もいる。

発起人の友、幹事さんに感謝し、次回の再会を誓い、校歌を合唱して別れを惜しむ。「ありがどう友よ、残された人生を、一笑健康で頑張りなう。」

出席者の多くは、ほかに用事があったりも、毎年みんなに会えるのを楽しみに出席します。また、ある人は、1人になっても、この催しを続けたいと言います。何十年続か、考えるだけ見返りを出さないと、このように長い付き合いが思い浮かぶ。

出席者の多くは、ほかに用事があったりも、毎年みんなに会えるのを楽しみに出席します。また、ある人は、1人になっても、この催しを続けたいと言います。何十年続か、考えるだけ見返りを出さないと、このように長い付き合いが思い浮かぶ。

高校を卒業して初めての同窓会は、欠席。田舎から上京した私に届くはずの返事は、田舎の自宅に、母はその返事を見て、こ親切にも欠席にマルをつけて出していた。

そのことを聞いたのは、同窓会が終わってから。「なぜ?」と聞くと、「どうせ帰ってこない時期だろうし、はがきを転送しても見るだけ見て返事を出さないだろう」とすべり性格を当ててくれた。

いまだに盆や正月を中心に同窓会はあるが、都合がつかず欠席している。何年後かには参加して、級友と再会したい。

北野・五木田 悦郎

毎年、小学校のクラス会が行われます。私が在籍したのは其会で、6年間組み替えなどもなくよく知り合った仲間です。会ができて、20年近くになりますが、毎年4月の第2土曜日に行われ、12~13人程度が集まります。幼稚園時代をいれますと70年以上の知り合いになります。

会の席では、その年によって、話題が変わることも多いのですが、いつも厳しかった先生、出席しない友人、昔と変わった近くの街のことなどの懐古談で時間を忘れず、終わりに、会場の許可を得て、校歌の斉唱をします。

昨日、同窓会の幹事から、今年の日程等について相談の電話が入った。終戦の年に生まれ、長野県の山村で9年をともに過ごした友との、32回目になる小字な長い会である。

全学年で90人の少なすぎのメリットは、誰とも話が通じることである。

毎年やっている「何か?」とも思いますが、話の中身は皆共通の体験なので、気がねなく参加できるのがよい。

「変化できないのが、何よりの安らぎなのだ」と皆も感じているのだとも思う。それにしても、三次会の終わりに近くなると、当時の初恋談議になるのはどうしてなのだろう。今年はその顔ぶれが、元気な顔で現れるのだろうか。

## 次回のテーマは「卒業」です



## 津軽の郷愁

北野・竹下 サカエ

還層に 津軽の山河 級友阿久

想いを遠く胸に抱いて、ある日旧友から一通の同窓会のお知らせを受け取り、驚きと喜びで震えてしまいました。

その年の8月下旬、津軽の初秋のさわやかな風の中、夢のような半世紀ぶりの再会をして、小学校卒業以来の恩師とも再会でき、感激は筆の先では表現する術もございませんでした。

先生は、りんこの花咲く村で一生懸命に私たちをかわいがってくださいました。先生や級友の皆さんに感謝をして、頑張っている今日この頃です。

## 春の行事

狭山ヶ丘 佐々木 利光

昨日、同窓会の幹事から、今年の日程等について相談の電話が入った。終戦の年に生まれ、長野県の山村で9年をともに過ごした友との、32回目になる小字な長い会である。

全学年で90人の少なすぎのメリットは、誰とも話が通じることである。

毎年やっている「何か?」とも思いますが、話の中身は皆共通の体験なので、気がねなく参加できるのがよい。

「変化できないのが、何よりの安らぎなのだ」と皆も感じているのだとも思う。それにしても、三次会の終わりに近くなると、当時の初恋談議になるのはどうしてなのだろう。今年はその顔ぶれが、元気な顔で現れるのだろうか。